

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

雪国型安心の家

グループの名称

雪国型安心住宅研究会

直近採択グループ番号

04-0332-0027

(グループ代表者)

代表者名

阿保 城治

代表者印

代表者所属先

株式会社かさい材木店

代表者所在地

青森県弘前市大字外崎5丁目8-2

代表者電話番号

0172-27-6212

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社かさい材木店

事務局担当者名

葛西 正隆

印

事務局郵便番号

036-8094

事務局所在地

青森県弘前市大字外崎5丁目8-2

事務局電話番号

0172-27-6212

事務局FAX

0172-27-6248

事務局担当者E-mail

group@kasaizaimokuten.jp

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|-----------------|----------------|----|
| B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 8 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 4 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | 長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 4 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 4 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | 高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 8 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 6 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 7 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 3 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | 高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 5 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 3 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 3 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数 | 申請が確実(上限150万円) | | 3 | 戸 | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 2 | 戸 | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | 申請が未確定(上限150万円) | | 2 | 戸 | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数 | 申請が確実(上限165万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | 申請が未確定(上限165万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積 | 優良建築物の申請棟数 | 申請が確実 | 22棟 | / | | | |
| | | | 2515㎡ | | | | |
| | | 申請が未確定 | 22棟 | | | | |
| | | | 2605㎡ | | | | |
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須) | 採択枠が少なかった場合は確定戸数を付けている工務店で抽選の上決定をする。 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| E. 平成28年度の執行状況(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 高度省エネ型(性能向上計画認定住宅) | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | 1戸 | 交付申請戸数 | 1戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 3戸 | 交付申請戸数 | 2戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | 3戸 | 交付申請戸数 | 2戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1戸 |
| 優良建築物型 | | | | | | | |
| 当初予算 | 採択棟数 | 0棟 | 交付申請戸数 | 0棟 | 完了実績(竣工予定含む)棟数 | 0戸 | |
| 当初予算 | 採択床面積 | 0㎡ | 交付申請床面積 | 0㎡ | 完了実績(竣工予定含む)床面積 | 0㎡ | |

| | | |
|--|--|------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 雪国型安心の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県全域 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) 雪国型安心住宅研究会 | (結成年) 2015年 |
| 3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須) | 04-0332-0027 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| ① 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 1. 寒さに対する取り組み【外皮性能】 住宅の基本外皮性能をZEH強化外皮基準の3地域UA値0.5[W/m ² K]相当以下を最低基準とし、ヒートショックのない高齢者にも快適で安全な住まいとします。 2. 積雪に対する構造取り組み【耐力面材】 積雪の多い地区なので、積雪に考慮した構造体とし、耐力面材施工を最低条件とする。 | ◎ |
| ② 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 1. 寒さに対する取り組み【風除室】 玄関には、風除室を設置し出入りの際に室内の暖気の流出を最小限に防ぐ設計を積極的に採用する。 | ○ |
| ③ 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | 1. 積雪に対する取り組み【落雪屋根】ここ数年は、特に積雪の量が多く、屋根の雪下ろしなど排雪作業時などの事故が増えている事をふまえ、落雪屋根の場合、落雪した雪を極力片付けなくてもよい方向に落ちる様に設計する事とする。特に太陽光システムを採用する際は、落雪方向をしっかりと考え設計する事とする。 2. 積雪に対する取り組み【無落雪屋根】排雪作業時などの事故を未然に防ぐため、極力雪下ろしをしなくても良い様な設計構造としアルミタラップの設置を行う。また、風向きなどをふまえ雪庇対策などを考慮した設計とする。 | ◎ |
| ④ ①～③の背景 | 青森県は豪雪地帯でもあり、県内のほとんどがH25年省エネ基準地域の3地域区分となる寒冷地域と非常に厳しい気象条件化にあり、住宅の施工を間違え、雪の問題、寒さの問題と入居後の生活に非常に不便を感じる可能性があります。その気候条件下で経験、知識のある地元工務店とともに情報交換、連携を図り、生活に負担の少ない安心・良質な地域型住宅の普及を目的とします。 | ◎ |
| ⑤ その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 『雪と寒さに強い青森県型省エネ住宅ガイドライン』推奨基準の換気による熱損失を削減する為に熱交換型換気システムを導入する。 | ○ |
| イ. 効率的な住宅生産体制の整備 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | 構造材の基本は、3寸5分または4寸する。枠組み工法の場合は204または206とする。 | |
| ①-1 用材の寸法規格化 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ①-2 使用建材の統一 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ①-3 標準仕様の設定 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ②-1 建材・資材調達の商品化 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ②-2 調達事務の合理化 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ |
| ④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: | ○ |
| b | グループ会員による早めの事務局への物件情報・工程表を提出し、早々の材料の確保することで工程の遅れを無くし、コストダウンを図る。 | |
| ① グループの信頼性向上に向けた施工基準 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: | ○ |
| ② グループの信頼性向上に向けた検査ルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: | ○ |
| ③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: | ○ |
| ④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: | ○ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 御施主様が一番見えにくい断熱欠損等の不具合をサーモカメラ、レーザー温度計を使って見える化施工方法の向上を行う。 | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|--|-------------------------|------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 雪国型安心の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県全域 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 雪国型安心住宅研究会 | (結成年) 2015 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 04-0332-0027 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|--------------|--|------------|
| a | | |
| ① | 住宅履歴情報の蓄積 | |
| ①-1 | 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 継続的な顧客管理を行います住宅履歴を作成し、管理、定期点検通知を行っていきます。 | ◎ |
| ①-2 | 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| ①-3 | 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| ② | メンテナンス基準の整備 | |
| ②-1 | 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| ②-2 | 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 積雪の多い地区なので、雪害に対しては特に迅速に対応を行い、原因を明確にし、事務局にレポートを提出し事務局は他会員に事例として報告し会全体で対策、技術向上を目指す。 | ◎ |
| ②-3 | 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 積雪の多い地区なので、雪害に対しては特に迅速に対応を行い、原因を明確にし、事務局にレポートを提出し事務局は他会員に事例として報告し会全体で対策、技術向上を目指す。 | ◎ |
| ③ | 住まいの管理 | |
| ③-1 | 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関より講師を招き勉強会を実施する。 | ◎ |
| ③-2 | DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベントに雪国安心住宅研究会グループのコーナーを作り木工教室、体験会を行い、地域貢献、木に親しむ機会を作る | ◎ |
| ③-3 | その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベントに雪国安心住宅研究会グループのコーナーを住宅相談会の実施を行う。 | ◎ |
| ④ | 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| ⑤ | その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| b | | |
| ① | グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関の住宅履歴システムの活用を行い、事務局も内容を確認する。 | ◎ |
| ② | 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三機関より講師を招き勉強会を実施する | ◎ |
| その他 | ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 事務局が、住宅履歴システム登録の申請窓口となり内容等も確認する。 | ◎ |

エ. グループの技術力の向上

| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|--------------|---|------------|
| a | | |
| ① | 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験者に対し、経験者の物件を活用し構造見学、完成見学等、勉強会を行う。 | ○ |
| ②-1 | 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局の各担当が、図面完成時、構造完成時、断熱完成時、耐火ボード完成時、住宅完成時にグループ内チェックシートを使いチェック、検査を行う事とする。 | ◎ |
| ②-2 | 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局担当者が、上記のチェックリストを管理する。 | ◎ |
| ③-1 | 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に構成員からのヒアリング、アンケートを行いメリット・デメリットを明確にし、年度毎にグループ、信頼、技術向上を目指し、地域より信頼向上を目指す | ○ |
| ③-2 | 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に構成員からのヒアリング、アンケートを行いメリット・デメリットを明確にし、年度毎にグループ、信頼、技術向上を目指し、地域より信頼向上を目指す | ○ |
| ④ | ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 発注書の統一化をはかり、誰が見ても内容のわかる書式を作って行く事とする。 | ○ |
| b | | |
| ①-1 | 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 49 今年度の参加目標人数 11 | ○ |
| ①-2 | 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 10 | ○ |
| ② | 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の開催案内を確実にを行う事と、特別な理由がない限り技術講習は義務とする。 | ◎ |
| c | | |
| ① | 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、断熱、サッシ、工法、熱源機器などの新商品、情報を積極的に集め、会員内への情報提供を行い、会員内でも情報交換を行い、地域全体の住宅性能を高める。 | ◎ |
| ② | 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな技術等を検討した時は、メーカー、技術者、講師を招き、グループ内での勉強会、可能な技術、商品は実証実験を行う。 | ○ |
| その他 | ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 各工務店がスムーズに情報交換などができる様に事務局が主導になり、情報交換会、懇親会などを開催する。 | ◎ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 雪国型安心の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県全域 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 雪国型安心住宅研究会 | (結成年) 2015年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 04-0332-0027 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

省エネに対する取り組み

設備等に関しては、青森県の住宅ガイドライン『雪と寒さに強い青森県型省エネ住宅ガイドライン』の給湯設備推奨基準(燃料系潜熱回収瞬間式給湯器、電気ヒートポンプ式給湯器、新エネルギーを熱源とした給湯システムの何れかを採用する。)を採用する事とする。ただし、採用できない場合は、同じく『雪と寒さに強い青森県型省エネ住宅ガイドライン』推奨の新エ

ネ ルギー設備等(a 太陽熱温水器、太陽熱給湯システム b 太陽光発電システム c 地中熱ヒートポンプシステム d バイオマス(薪ストーブ、ペレットストーブ等) e 家庭用コージェネレーションシステム(燃料電池を含む))の何れか一つを採用する事とする。

地域材に対する取り組み日本三大美林の一つであり、青森県の木である青森ヒバは、その美しさだけでなく、白蟻に最も強い木と知られる他、腐朽菌などによる腐りにも非常に強く、カビをも寄せ付けない非常に優れた木材の特性を利用積極的に採用し、『青森県産材』の需要拡大と、地域林業の活性化、循環型社会への貢献の為に普及に努めていきます。ただし、コストとのバランスも考慮し主に土台への採用を積極的に取り入れていきます。他構造材へも積極的に県産材を推奨する。活用できない構造材に関しては、主として合法木材を採用する事とする。また、合板をする際も、国産材を使用した合板もしくは、合法木材証明を受けた合板を積極的に採用する。

